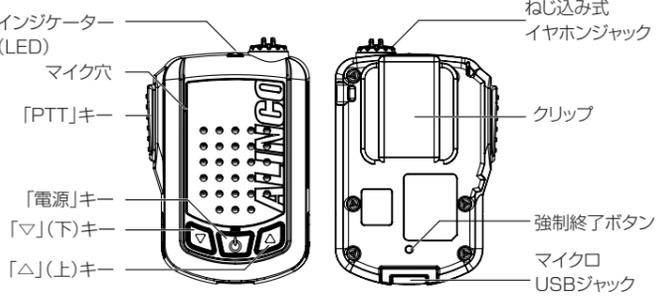


各部の名称

■本体



注意 ・マイク穴にシール類を貼り付けしないでください。音声を拾わなくなります。

名称	機能
「PTT」キー	専用アプリ使用時の送信ボタンです。無線機用語で送信ボタンをPTTと言います。 ※専用アプリで使用するにはBLE接続が必要です。 ※電話の場合、このキーを使わず通話できます。
「電源」キー	(電源オフのとき)長押しで電源を入れます。 更に長押しでペアリングモードになります。 (電源オンのとき)長押しで電源を切ります。 専用アプリでの通話中に押すと、通話を終了します。 本機と接続しているスマートフォンに電話がかかってきたとき、押すと応答できます。再度押すと通話を終了します。
「△」(上)キー	受信音量を上げます。
「▽」(下)キー	受信音量を下げます。
強制終了ボタン	本機を強制終了します。

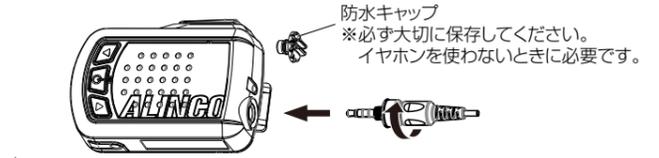
付属品と取り付け方

- 本体
EMS-87W
- 充電用USBケーブル
EDS-37
- 保証書
- 取扱説明書(本書)
- クリップ(取り付け済)
BH0069S

クリップの取り付け、取り外し
本機のクリップは出荷状態で取り付け済みです。
取り外すときはクリップを図の①を押しながら②の向きに引っ張ります。取り付けるときはクリップを図の向きで本体に挿入します。
※製造番号は本機裏右下の銘板ラベルに記載しております。
※クリップのスペア(BH0069S)は販売店でお求めください。

注意 イラストの位置にあるシールは絶対に剥がしたり、このシールを覆うように別のシールを貼ったりしないでください。浸水や音質不良など故障の原因になります。

イヤホンを接続する(オプション機能)：対応するイヤホンは弊社HPをご覧ください。
突起部分にコインなどを当て、反時計方向(左)に回して防水キャップを外します。外したキャップは必ず保存してください。イヤホンのプラグをジャックに差し込み、時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは動作しません。取り外すときは反時計方向(左)に回してください。



注意

- イヤホンプラグを取り外す際はイヤホンプラグの銅部分を指で持って、ゆっくり反時計方向に回して引き抜いてください。コードを引っ張るとコードの消耗を早めるばかりでなく、故障の原因になりますので絶対にお止めください。
- ご購入直後の初期不良以外、イヤホンプラグ、ジャックやケーブルの破損は保証の対象外となりますので充分ご注意ください。
- 弊社純正以外のオプション品を接続しての不具合は、製品保証の対象外となりますので充分ご注意ください。また弊社は一切の責任を負うものではありません。
- イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますが自然現象です。
- アクセサリを使わないときは防水キャップをしっかりと装着してください。装着が不十分だと防水性能が発揮されなかったり、異物が本機内部に入りやすくなったりして故障の原因になります。

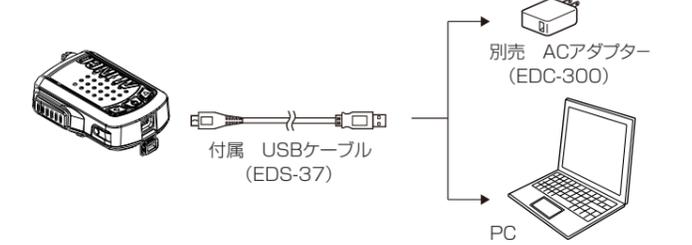
■内蔵バッテリーを充電する

注意

- EDC-308Rは充電スタンドです。充電以外の目的で使用しないでください。
- 充電スタンドに本機を挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
- 本機は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電にしてからご使用ください。
- 弊社の充電スタンドは対応する弊社製品専用です。
- 本機を充電スタンドのポケットに挿入すると、自動で電源オフになるため、充電中は使用できません。
- リチウムイオンバッテリーは定格電圧(50%充電程度)での保存が推奨されています。特にバッテリーが減ったまま保存すると数カ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充充電するメンテナンスをおこなってください。
- 充電中は本機を揺らしたり、無駄な抜き差しを繰り返したりしないでください。充電電圧が正しく検出されず、本機の充電状態を示すインジケーターが適切に動作しなかったり、途中で充電動作を終了することがあります。

●USBケーブル(EDS-37)

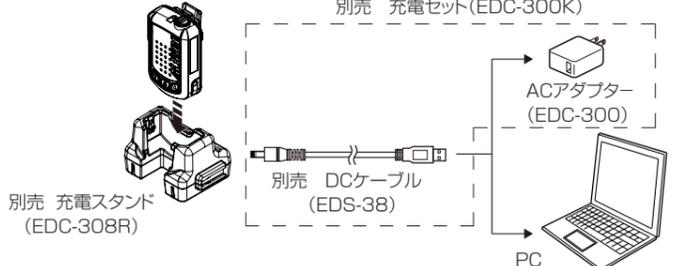
- 本機のマイクロUSBジャックのキャップをあけます。
- USBケーブルのマイクロUSBプラグ側を本機に接続します。
- USBケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
- ACアダプターを使用する際は、ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)
- 充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
- 充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。



●別売EDC-308R(1台充電)

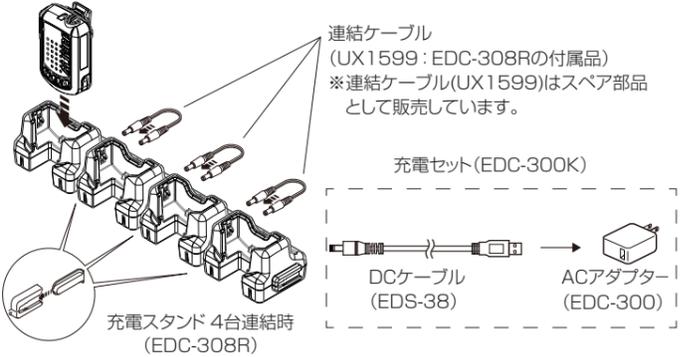
- DCケーブルのDCプラグ側を充電スタンド背面にあるいずれかのジャックに接続します。
- DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターまたはPCに接続します。
- ACアダプターを使用する際はACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター0.5A以上)

- 本機のマイクロUSBジャックのキャップをしめます。
- 本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
- 充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
- 充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。



●EDC-308R(連結充電)

- EDC-308Rどうしを連結します。(最大4台連結)
- 充電スタンド背面のジャックに連結ケーブルを接続します。
- DCケーブルのDCプラグ側を端の充電スタンド背面のジャックに接続します。
- DCケーブルのUSBプラグ側をACアダプターに接続します。
- ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。(ACアダプター2A以上)
- 本機をEDC-308Rのポケットに図の向きで挿入します。
- 充電が開始され赤色インジケーターが点灯します。
- 充電が完了すると緑色インジケーターが点灯します。



充電時間と運用時間

- 充電時間：放電状態の内蔵バッテリーを約3時間で満充電できます。
- 充電温度範囲：0℃～+45℃　この範囲以外では正しく充電できません。
- 運用時間の目安：満充電から約12時間(弊社規定の条件にて)
- 運用時間は使用環境、特にスピーカーの音量設定で大きく変わります。

注意　本機は待機電流が流れるため電源オフでも内蔵バッテリーを放電させます。月単位で使わないときはインジケーターが赤色点滅するまで放電してから1時間程度補充充電して、25℃程度の乾燥した暗所で保管してください。また2カ月をめぐると同様の補充充電を行ってください。

インジケータ表示について

インジケータ表示	機能
緑色1秒点灯	電源オン/オフ
赤色1回点滅	ペアリング完了
緑色早い点滅	ペアリングモード
緑色早い2回点滅	未接続状態
緑色遅い点滅	接続状態/待受状態
赤色点灯	充電中
緑色点灯	満充電
赤色点滅	減電池状態

操作説明

キー操作について

本書中、「押す」は押した後、すぐに離すことを指します。長く押しすぎると違う動作をすることがあります。「長く押す」「長押しする」は機能が動作するまで押し続けることを指します。

電源を入れる/電源を切る

「電源」キーを長押しすると、「電源オン」とアナウンスがあり、電源が入ります。電源が入っている状態で「電源」キーを長押しすると、「電源オフ」とアナウンスがあり、電源が切れます。

スマートフォンとの接続(ペアリング)と専用アプリとの接続(BLE接続)
本機を使用する前にスマートフォンとの接続(ペアリング)を行います。次に「PTT」キーを有効にして送信ができるようにするために専用アプリとBLE(Bluetooth Low Energy)接続を行います。
本製品をペアリングモードにした後のBLE接続方法は専用アプリの取扱説明書をお読みください。

- ※ペアリング機器が見つからない状態が5分続いたときは、電源が切れます。

ペアリングモードの入り方

ペアリング情報の入っていない状態で電源を入れると自動的にペアリングモードになります。一度ペアリングした後に再度ペアリングモードに入るには、電源を切った状態で「電源」キーを長押しします。電源が入っても、「ペアリング中です」とアナウンスが聞こえるまで「電源」キーを押し続けてください。
※ペアリング情報は1つしか保持出来ません。上書きすると古いペアリング情報は破棄されます。

ペアリング情報の初期化

電源を切った状態で「電源」キー、「△」キー、「▽」キーを同時に長押しして、電源が入った後もそのまま「電源」キーを5秒ほど押し続けます。電話の通話中のような「ツーツー」音と「ペアリング中です」のアナウンスが聞こえたら「電源」キーを離します。

受信音量を調整する

「△」キーを押すと音量が大きく、「▽」キーを押すと音量が小さくなります。0～15までの16段階変更できます。

音声を受信する/送信する

スマートフォンと接続している通話の音声を聞くことができます。アプリとBLE接続している「PTT」キーが有効になり音声を送ることもできます。

・受信：スマートフォンと接続していれば音声は受信できます。本機を操作する必要はありません。

・送信：本機の「PTT」キーを押すと音声を送信します。話している間は「PTT」キーを押し続けます。

注意　専用スマートフォンアプリの「PTTホールドスイッチ」はオフにしてお使いください。オンにして使うとハウリング(大きな雑音)が生じることがあります。

定格

表示名称	AL-EMS87W-M***** (M*****は銘板ラベルに記載)
適合規格	Bluetooth Ver4.2準拠
送信出力	Class 1
対応プロファイル	HFP
通話距離(通常時)	10m
最大ペアリング数	1台
外形寸法	56(W) x 88(H) x 26.2(D) mm(突起含まない)
使用温度範囲	-20℃～+60℃
充電温度範囲	0℃～+45℃
質量	138g(クリップ含む)

電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに次の動作をすることで、電話の応答/拒否をすることができます。ハウリングがおきますので音量を小さくして応答してください。

【専用アプリで通話していないとき】

・電話が着信したときに、本機の「電源」キーを押して応答できます。通話を終わるときも本機の「電源」キーを押します。

【専用アプリで通話しているとき】

・専用アプリでの通話中、本機の「電源」キーを押すと電話着信を拒否し、専用アプリでの通話を継続できます。

注意

- 専用アプリでの通話中、スマートフォン側の応答ボタンをタップすると電話に応答できますがスマートフォンでの直接通話になります。通話を終了するときはスマートフォン側で操作するか、本機の「電源」キーを押します。但し、この操作をすると本機の通話ができなくなります。回復させるにはスマートフォンの設定でBluetooth接続をオフにして、改めてオンにした後でペアリング・BLE接続しなおしてください。

【推奨の設定】

- スマートフォンの設定で「常時Bluetoothイヤホンやマイクを使う」ように設定しておけば、上記の現象は起きません。設定方法はお使いのスマートフォンの説明書をお読みください。

参考　上記の現象は、スマートフォンが通話に最適状態に自動設定することで起こります。異常ではありません。予め上記の設定をしてスマートフォンをお使いなら、上記の現象は起きません。

オプション一覧

- EDC-300
USB式ACアダプター(2A)
- EDC-300K
充電セット(EDS-38とEDC-300のセット)
- EDC-308R
連結充電スタンド(連結ケーブル付属)
- EME-58
耳かけ式イヤホン
- EME-60
カナル型イヤホン
- EDS-38
EDC-308R用DCケーブル

故障とお考えになる前に

「故障かな?」と思われるら、まず以下の処置をご確認ください。また、アクセサリーが原因の不具合もありますので必ず点検してください。

症状	原因	処置
●電源が入らない	バッテリーの消耗 バッテリーの過放電保護回路が動作している	充電する バッテリーを十分に充電してから電源を入れる

●ペアリングできない	ペアリングモードになっていない スマートフォンの設定が間違っている 周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している 周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している	ペアリングモードにする スマートフォンのペアリング設定を確認する ●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する ●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
●イヤホンから音が出ない	音量が小さくなっている イヤホンプラグがはずれかけている	「△」キーを押して音量を大きくする イヤホンジャックに正しくねじ込む
●通話が突然切れる ●ノイズが入る	スマートフォンとの距離が離れている 周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している	スマートフォンとの距離を近づける ※本機との通話範囲は約10mですが周辺環境などによって短くなる場合があります 他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す
●専用アプリ使用時、本機の「PTT」キーを押しても送信されない	BLE接続ができていない	●専用アプリでBLE接続を行う ●ペアリングをした後、専用アプリでBLE接続を行う ●スマートフォン側で一旦接続を切断し、再接続をした後、BLE接続を行う
●電源が入っているが操作しても動作しない	—	強制終了ボタンをベン先などで押して、強制終了させてから電源を入れ直す
●接続できない ●再接続できない	周辺でBluetooth対応機器が複数稼働している 周辺の電子機器、無線LAN機器などが妨害している スマートフォンのBluetoothがオンになっていない スマートフォンとの距離が離れている	以下処置をしたあと、「電源」キーを長押しして電源を入れ、自動接続する ●他のBluetooth対応機器を停止させる ●他のBluetooth対応機器のない場所に移動する ●他のワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離を離す ●スマートフォンとの距離を近づける ※本機との通話範囲は約10mですが周辺環境などによって短くなる場合があります

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。